

愛媛県のすがた（地形・風土・文化）

◆地形・風土

愛媛県は、四国の北西側に位置し、日本一細長い佐田岬半島を境に瀬戸内海と宇和海の2つの海に面しています。

瀬戸内海側は、海に面して道後平野(松山市など)や道前平野(新居浜市・西条市など)が広がり、宇和海側は、出入りの多いリアス海岸になっています。

瀬戸内海・宇和海には391の島々があり、海岸線の長さは、
全国5位(約1,700km)、宇和海南部ではサンゴも見られます。

南側に接する高知県との境付近には、西日本で一番高い石鎚山(1,982m)をはじめとする四国山地がそびえており、海・山両方の自然に恵まれています。

気候はおだやかで、住みやすい
地域といえます。



いしづちさん
石鎚山



う わ かい
宇和海のサンゴ



◆文化

愛媛県は、大山祇神社(※1)
 をはじめ、松山城(※2)、道後
 温泉本館(※3)、内子町や西予
 市・宇和島市の古い町並みなど、
 多くの文化財に恵まれ、また正
 岡子規をはじめとする多くの俳
 人が育った「俳句王国」として
 も知られるなど歴史と伝統ある
 文化が残されています。「西条
 まつり」「新居浜太鼓祭り」「宇
 和島牛鬼まつり」など、特徴の
 あるまつりもたくさんあります。

※1 国宝や重要文化財の指定を受けた武具・甲冑などを多数収蔵・展示

※2「日本三大平山城」の一つで重要文化財

※3 重要文化財で、ミシュランガイドで三
星^えを得た

◎愛媛県の位置



どうご あんせんほんかん
道後温泉本館